

当センターの職業訓練を受講後、アジア工業株式会社様に正社員として就職され、キャリアカー特装の仕事をされている河本 真爾様（溶接技術科 平成 30 年 10 月生）に、現在のお仕事等についてお話を伺いました。

さらに、専務取締役 木下 徹哉様に、河本様の採用や仕事ぶりについてお話を伺いました。

（写真）右：木下専務取締役  
左：河本様



\* \* \* \* \*

**溶接ができるようになりたいくて、溶接技術科を受講。**

**やれたかった仕事ができるので、ココに就職してよかった！**

溶接技術科を受講された河本様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- キャリアカー特装（※）（正社員）です。配管の曲げ、油圧装置の組付け・調整をしています。

※「キャリアカー」とは車両を運搬するためのトラックで、「特装」とは自動車やトラックのメーカーが製造した「運転台（キャビン）と車枠（シャシー）」に、目的や用途に応じた装備の設計・製作・取付加工をすることです。



◇前職は？

- ー 自動車整備業の事業所で、自動車のエンジン組立て、加工をしていました。

◇就職されて、いかがですか？

- ー やりたかった仕事ができているのですが、トラックの下に潜って溶接をしたり、職業訓練では経験していない姿勢での溶接作業もあるのでたいへんです。図面も、職業訓練で使っていた教科書を見直してかくれ線（※）などを思い出しました。やりたかった溶接ができるので、ここに就職してよかったです。  
※「かくれ線」とは、機械図面において対象物の見えない部分の形状を表す線です。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- ー 溶接ができるようになりたかったからです。家で TIG 溶接（※）をしていましたが、アルミの溶接ができませんでした。

※「TIG 溶接」は、アルゴン溶接とも呼ばれ、軟鋼はもちろんのこと非鉄金属（ステンレス鋼、アルミニウム合金鋼など）も溶接できる溶接法です。溶接の見た目が美しく、細かい部分の溶接にも適しています。

◇受講の目標は？

- ー TIG 溶接など、職業訓練で学ぶすべての溶接ができるようになることでした。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- ー ポリテクセンターのことは友達から聞きましたが、特に印象はありませんでした。

◇受講していかがでしたか？

- ー 目標どおり溶接ができるようになりました。

◇職業訓練で習得したスキルで、

今のお仕事で役立っていることは？

- ー 溶接の技術と資格（※1）です。職業訓練では半自動溶接（※2）、アーク溶接（※3）、TIG 溶接、ガス溶接（※4）を習得しましたが、仕事では半自動溶接をしています。

※1 アーク溶接作業を行うにはアーク溶接等の業務に係る特別教育を、ガス溶接作業を行うにはガス溶接技能講習を修了する必要があります。当センターでは、受講中に修了し、修了証を交付しています。

※2 「半自動溶接」は、炭酸ガスアーク溶接とも呼ばれ、作業効率のよい溶接方法として知られ、軟鋼の溶接に現在最も主流で使用されています。



- ※3 「アーク溶接」は、手溶接、被覆アーク溶接とも呼ばれ、電気溶接の中で最も古い溶接方法ですが、現在でも現場溶接と呼ばれる屋外の溶接作業に広く用いられています。
- ※4 「ガス溶接」は、アセチレン、水素、LPGなどの可燃性ガスの燃焼熱で、ガス溶接機によって、金属を加熱し溶接する方法です。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- － 履歴書・職務経歴書やお礼状などは 相談しながら作成しました。文章作成が苦手なので、一緒に考えてもらえて助かりました。

◇就職決定の決め手は？

- － 希望していた溶接ができることです。トラックや車が好きなので、車両運搬車や平ボデートラックなどの製造をしている会社を探しているなか弊社の求人を見つけて、すぐに応募しました。



◇今後の目標は？

- － まずはミスを減らすことです。ひとつひとつ仕事を覚えてミスなく作業できるようになることが当面の目標です。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- － 私は「とりあえず挑戦してみればどうにかなる」と思い職業訓練を受講し、希望の仕事に就くことができました。あれこれ考えず、とりあえず挑戦してみてください。

\* \* \* \* \*

**自分がつくるものに興味を持たないと仕事は続かない。**

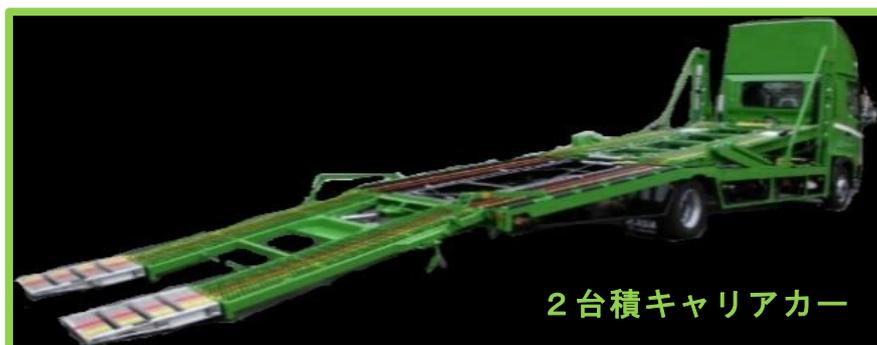
**100%自社でつくり上げるから、いろいろな作業がある。**

**失敗してもいい、どんどんチャレンジして欲しい！**

専務取締役 木下 徹哉様に、河本様の仕事ぶりや採用の決め手、今後の採用についてお話を伺いました。

◇事業内容は？

- 一 車両運搬車、平ボデートラック、重機運搬車、介護入浴車などの製造・販売、特殊車両の修理・メンテナンス、自動車部品等の製造・販売をしています。物流会社の車両製造部門（キャリアカー）から独立し、2008年4月に岡山県玉野市で創業しました。その後、トラック荷台製造会社（カーゴ系）の事業を引き継ぎ、現在の体制を築きました。カーゴ系は地域密着型で岡山を中心に中国地方・四国・兵庫県に取引先があり、キャリアカーは北海道から沖縄まで全国よりお声掛けいただいております。



◇採用の決め手は？

- 一 第一に、若いことです。第二に、職業訓練を受講していて溶接の基本的な知識・技術を習得していることです。面接では、おとなしいという印象を受けました。

◇仕事ぶりは？

- 一 入社して8ヶ月になりますが、欠勤・遅刻がありません。体調を崩して休むということもありません。河本さんは、社会人としての当然のルールを守っています。弊社は部品製造ではなく完成品をつくるので、溶接以外にも作業はいろいろあります。溶接のウェイトは大きいですが、単純な溶接はベトナム人社員が担当しています。そのため、高いスキルを要する溶接、機械装置の制御、油圧、配管（※）、電気などを河本さんに担って欲しいと考えています。

先ほど「ミスを少なくする」という話が出ていましたが、失敗するのは、している仕事が単純作業ではないからです。今はまだ理解不足などが原因で失敗することもあります。多少の失敗は仕方ないと思っています。「失敗する」「できない」ということは、チャレンジした結果です。失敗できるのは20代の今のうちです。河本さんはチャレンジしているので、チャレンジしてどんどん失敗すればよいと思います。

※この場合の「配管」とは、給水管や排水管、ガス管の配管作業ではなく、配管の接続部分に溶接施工を行う配管溶接のことです。圧力に強く、高圧が加わるものの供給にも対応できます。少しのミスも許されない仕事であるため、繊細で確実な作業を行えるスキルが要求されます。

◇御社が求めている人材？

- はい。新卒者は手取り足取り指導しなければなりません、職業訓練を受講していることにより溶接の基礎的な知識・技術は習得しており、全くの未経験者と比べるとひとつハードルを越えています。前職で自動車関係の仕事をしていたことも、弊社にとってはメリットでした。

◇期待されていることは？

- 今は忙しいこともあり、河本さんは「つくること」に集中していると思います。今後は、修理やお客さんと接する仕事、お客さんと会話する仕事など、仕事の幅を広げ経験を積んでいく中で、世の中のことをもっと知って行って欲しいです。河本さんはまだ 20 代なので可能性がたくさんあり、今後の成長が楽しみです。色々なことにトライし、ひとつひとつ仕事を覚えて行って欲しいです。

また、配管はすぐにできるようになる仕事ではありません。習得するのに時間がかかります。油圧配管は高圧になるので締めるところはしっかり締めることが大切で、それができていなければ大変な災害になってしまうという責任感を持って仕事をして欲しいです。

組み上げの仕事は、経験を積み体で覚えるしかありません。これから 仕事に必要な理論を勉強してもらおうと考えています。弊社は作業内容が色々とあり、それぞれ経験と理論の知識の両方が必要となります。そのため、一人で仕事ができるようになるには、2、3年くらいかかります。

また、河本さんと同じ年代で 同様に職業訓練を受講した人が入社してくれた際には、一緒に盛り上げて行って欲しいと考えています。

◇職業訓練を受講されて、仕事に役立っている点は？

- 溶接の知識・技術です。

◇当センターに期待することやご要望は？

- 読図ができるようにしていただきたいです。  
会社によって図面の形式が違いますが、機械部品の図面、電気系統図、油圧それぞれの図面の基礎でいいので、それぞれの記号を知っておいて欲しいです。

また、ポリテクセンターへ出向いてもいいですし、弊社に来ていただいてもいいのですが、溶接や油圧の「基礎の基礎」を社員に指導していただきたいです。溶接の基礎の基礎を半月程度受講させることができれば…と考えています。弊社のような規模の小さい会社は、自社での指導がなかなかできず困っています。



◇当センターの修了生以外で、未経験で入社された方は？

- おります。溶接の経験はありません。キャリア形成の観点から 未経験者なら 30 才まで、できれば 25 才までの方を採用したいです。弊社で長く勤めてキャリアを積み、高度なスキルが必要となる仕事をしてもらいたいと考えています。そのため、

弊社の人員体制上、原則として30才を過ぎて経験がない方は採用しない方針ですが、河本さんのように職業訓練を受けてスキルと意欲のある方であれば採用したいと考えています。



◇採用にあたり、重視されていることは？

- 一 究極のところ、人間性です。しかし、面接だけで人間性を見極めるのは困難であるため、自動車関係の仕事経験を重視しています。そして大切なことは、弊社の製品に興味があることです。自分がつくるものに対して興味を持てなければ、仕事を続けることはできません。弊社は部品ではなく完成品をつくるので、どんなものをつくっているのか見て分かりやすいです。「仕事は完成するところまでやって意義がある」と私は考えています。生活のために働くことは大切ですが、生活や給料のためだけに仕事をしているという人は弊社にはあまりいません。つくるものに興味があり、仕事にやりがいや達成感を求める人を採用します。

「全て分かるようになるのは負荷がかかるから、ずっと一つのことだけをしていたい」という人もいますが、“色々な作業がしたい人”、“チャレンジできる人”を求めています。そして、臨機応変に対応できるスキルも必要となります。受注内容や状況の変化によって上司の指示が変わることがありますが、その時は頭を切り替えて対応して欲しいです。

現在、女性社員は事務を担当していますが、今後は現場作業者も採用する予定です。

◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

- 一 弊社は 製品の一部をつくるメーカーではなく、受注から納品まで一貫生産し自社で100%つくり上げます。設計も社内ですべてのスタッフが行います。いろいろなことができるようになってもらいたいのので、若手社員にはいろいろな要求を出しますが、失敗を咎めることはありません。どんどんチャレンジしたい人は、ぜひ弊社に応募していただきたいです。



所在地：備前市吉永町福満824

(2020年4月 岡山市北区玉柏へ移転予定)

設立：2008年4月14日

資本金：1,000万円

従業員数：28名

事業内容：車両運搬車、平ボデー、重機運搬車、チップ運搬車などの企画・制作・販売、一般設備企画

## アジア工業株式会社

<http://www.asia-industry.jp>

＝溶接技術科担当から＝

溶接技術科では溶接工としての訓練内容が多いので、河本様が就職できたのは前職の経験があったからだと思います。当センターで身に付けられた溶接と前職の車関係の仕事で身に付けられた専門的な技術を今の仕事を通してさらに磨いて欲しいです。

ひとつのことだけでなく、いろいろなことができる、そんな職人になれるのではないかと期待しています。

(取材後記)

- ◎ご多忙のところ取材にご協力いただきました木下専務取締役、河本様、写真撮影・原稿作成にご協力いただきました社員のみなさま、ありがとうございました。
- ◎木下専務取締役と河本様のお話を伺い、河本様が「車関係の仕事をしたい」というご希望を大切にされ、あきらめずに粘り強く就職活動をされて巡り合うことができた、とても貴重なご縁だと思いました。このご縁が長く続き、河本様がより高度な技術を要する仕事にどんどんチャレンジされて、木下専務取締役の期待される職人・技術者になれることを願っております。
- ◎取材後ご提供いただいた社員のみなさまや製品の写真を拝見し、木下専務取締役がお話くださった社員のみなさまの仕事に対する情熱や誇りが伝わってきました。
- ◎木下専務取締役と河本様からいただいたメッセージは、新しい分野に踏み出すことに不安を感じられている方、失敗するのではないかと感じて挑戦することをためらっている方にとって、背中を押していただけるお言葉と感じました。

<2019年12月>